

ダイワ・グローバル債券ファンド (毎月分配型)

<5837>

追加型投信／海外／債券
日経新聞掲載名：グローバル債

第234期	2023年5月8日決算	第237期	2023年8月7日決算
第235期	2023年6月5日決算	第238期	2023年9月5日決算
第236期	2023年7月5日決算	第239期	2023年10月5日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、外貨建ての公社債に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第239期末	基準価額	6,667円
	純資産総額	85,623百万円
第234期～第239期	騰落率	4.9%
	分配金合計	60円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

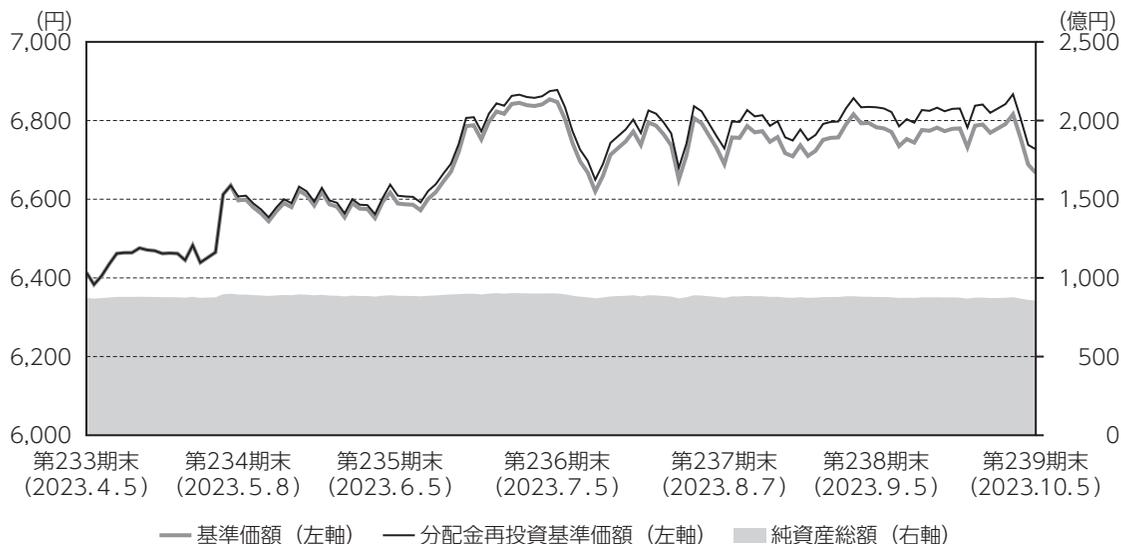
◇TKU0583720231005◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第234期首：6,414円

第239期末：6,667円（既払分配金60円）

騰落率：4.9%（分配金再投資ベース）

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	6.4%	33.2%
ダイワ・オセアニア債券マザーファンド	2.4%	33.0%
ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	8.7%	20.1%
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	7.1%	13.2%

基準価額の主な変動要因

債券の価格下落はマイナス要因となりましたが、債券の利息収入や投資対象通貨が円に対して上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1万口当りの費用の明細

項 目	第234期～第239期 (2023.4.6～2023.10.5)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0.689%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,676円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.248)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.414)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	47	0.703	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

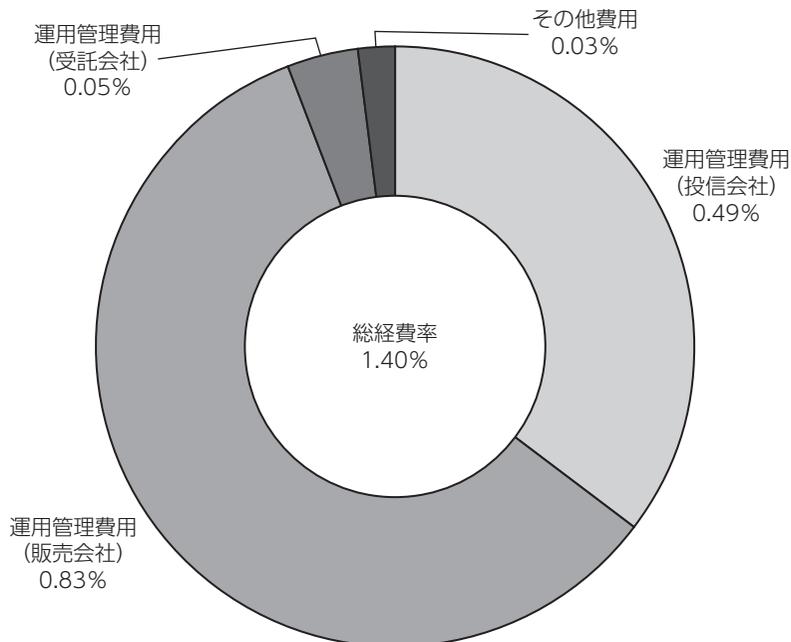
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。

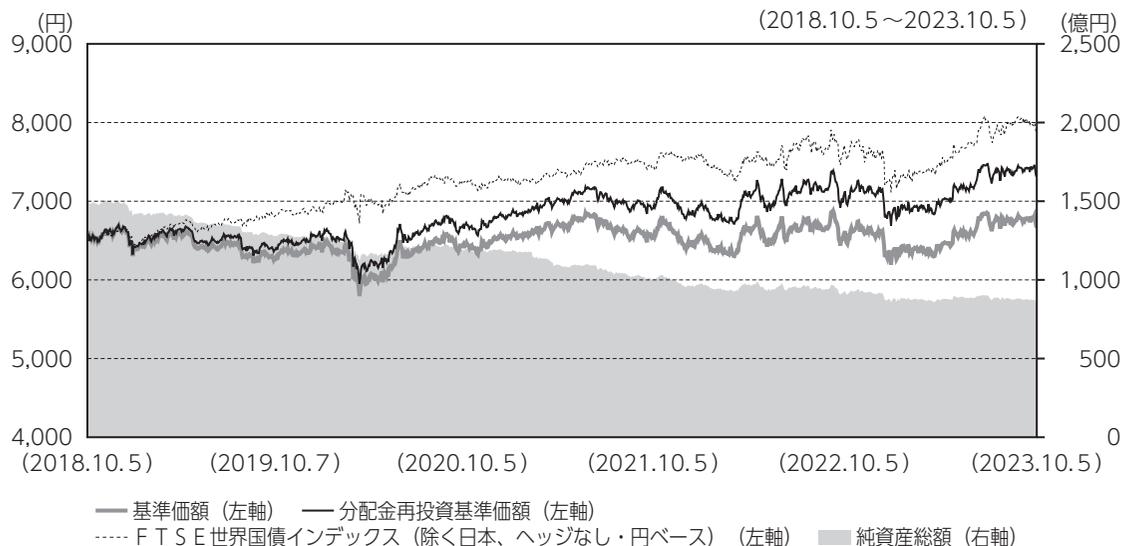


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年10月5日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数はFTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年10月5日 期初	2019年10月7日 決算日	2020年10月5日 決算日	2021年10月5日 決算日	2022年10月5日 決算日	2023年10月5日 決算日
基準価額 (円)	6,616	6,266	6,434	6,539	6,596	6,667
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△3.5	4.6	3.5	2.7	2.9
FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	3.1	5.8	2.7	4.1	2.3
純資産総額 (百万円)	151,015	127,727	119,074	100,188	92,590	85,623

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) 騰落率は、同指数の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

投資環境について

(2023.4.6～2023.10.5)

海外債券市況

海外債券市況は、おおむね金利上昇（債券価格は下落）しました。

海外債券市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が後退したことや経済指標が上振れたことなどを背景に早期の引き締め終了期待がはく落し、金利は上昇基調となりました。2023年6月には、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の据え置きを発表したものの、今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利の上昇が継続しました。その後も、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことや、米国における国債の増発に伴う需給の悪化などが嫌気され、米国をはじめとして世界的に金利上昇基調が強まりました。

為替相場

対円為替相場は上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、信用不安の後退や経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、上昇基調となりました。2023年6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。その後は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落（円高）する場面もありましたが、再度米国をはじめグローバルで金利が上昇基調となると、円は弱含む展開となりました。

米ドル以外の通貨も米ドル円に連れる展開となり、日銀が他の国・地域の中央銀行に比べ緩和的な金融政策を維持したことから、対円で上昇しました。

債券指数の推移



為替相場の推移



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。米ドルおよびカナダ・ドルを北米通貨圏、ユーロ等および北欧・東欧通貨を欧州通貨圏、豪ドルおよびニュージーランド・ドルをオセアニア通貨圏とし、3通貨圏に均等に投資することをめざします。各通貨圏の公社債への投資は、マザーファンドの受益証券を通じて行います。各マザーファンドの債券ポートフォリオは、各国のファンダメンタルズや金融政策の方向性の違い、世界全体のリスク資産の動向などに注目しながら運用を行ってまいります。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

今後も主として米ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度でコントロールします。クレジットリスクについては、高格付銘柄でポートフォリオを構成する投資スタンスで臨みたいと考えています。

■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

ヨーロッパの通貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンダメンタルズや金融政策見通し等を勘案しつつ、3（年）程度から7（年）程度の範囲で対応する方針です。また、債券種別構成に関しては、国債を中心とした運用を継続します。通貨の投資比率については、ユーロ等を40%程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60%程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させる方針です。

■ダイワ・オセアニア債券マザーファンド

主としてオセアニアの通貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、各国の経済情勢や金融政策、商品市況などを勘案しつつ、3（年）程度から7（年）程度の範囲で対応する方針です。ポートフォリオの通貨配分について、ニュージーランド・ドル建資産を60%程度、オーストラリア・ドル建資産を40%程度とすることを基本とします。

ポートフォリオについて

(2023.4.6～2023.10.5)

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。米ドルおよびカナダ・ドルを北米通貨圏、ユーロ等および北欧・東欧通貨を欧州通貨圏、豪ドルおよびニュージーランド・ドルをオセアニア通貨圏とし、3通貨圏に均等に投資することをめざしました。

各通貨圏の公社債への投資は、「ダイワ高格付米ドル債マザーファンド」、「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」、「ダイワ・オセアニア債券マザーファンド」、「ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド」の受益証券を通じて行いました。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

米ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、国債や社債をポートフォリオの中心としました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。

債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

■ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

ヨーロッパの通貨建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から7（年）程度の範囲内で運用しました。また、債券種別構成に関しては、国債の組入比率を高めに保ちました。

通貨の投資比率については、ユーロ等を40%程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60%程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させました。

■ダイワ・オセアニア債券マザーファンド

主としてオセアニアの通貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から7（年）程度の範囲内で運用しました。

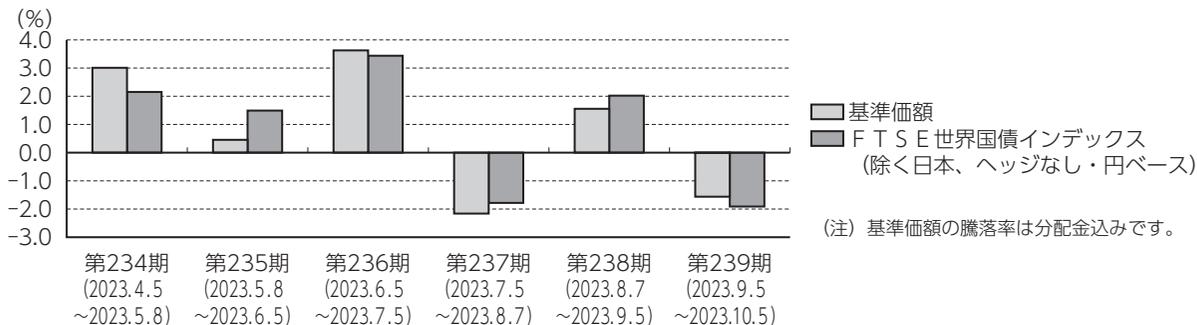
債券種別構成に関しては、国債の組入比率を高めに保ちつつ、ポートフォリオ利回りを高めるべく州債や事業債も組み入れました。

ポートフォリオの通貨配分について、60%程度をニュージーランド・ドル建資産へ、40%程度をオーストラリア・ドル建資産へ投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
	2023年4月6日 ～2023年5月8日	2023年5月9日 ～2023年6月5日	2023年6月6日 ～2023年7月5日	2023年7月6日 ～2023年8月7日	2023年8月8日 ～2023年9月5日	2023年9月6日 ～2023年10月5日
当期分配金（税込み）（円）	10	10	10	10	10	10
対基準価額比率（%）	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
当期の収益（円）	10	10	10	8	10	7
当期の収益以外（円）	—	—	—	1	—	2
翌期繰越分配対象額（円）	169	170	175	173	177	175

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期	第239期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 15.19円	✓ 11.28円	✓ 14.88円	✓ 8.12円	✓ 13.67円	✓ 7.71円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	11.79	11.85	11.91	11.98	12.04	12.16
(d) 分配準備積立金	152.56	157.70	158.93	✓ 163.76	161.82	✓ 165.39
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	179.56	180.85	185.74	183.87	187.55	185.27
(f) 分配金	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	169.56	170.85	175.74	173.87	177.55	175.27

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

通貨を分散し、外貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。米ドルおよびカナダ・ドルを北米通貨圏、ユーロ等および北欧・東欧通貨を欧州通貨圏、豪ドルおよびニュージーランド・ドルをオセアニア通貨圏とし、3通貨圏に均等に投資することをめざします。各通貨圏の公社債への投資は、マザーファンドの受益証券を通じて行います。各マザーファンドの債券ポートフォリオは、各国のファンダメンタルズや金融政策の方向性の違い、世界全体のリスク資産の動向などに注目しながら運用を行ってまいります。

■ダイワ高格付米ドル債マザーファンド

今後も主として米ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度でコントロールします。クレジットリスクについては、高格付銘柄でポートフォリオを構成する投資スタンスで臨みたいと考えています。

■ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド

今後も主としてユーロ建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。債券ポートフォリオの金利変動リスク（修正デュレーション）については、ファンダメンタルズや金融政策見通しなどに基づき、3（年）程度から5（年）程度の範囲で対応する方針です。クレジットリスク面では、ユーロ圏各国の政情や経済・財政政策の動向などを注視し、信用力分析や市場分析を踏まえて、信用格付けが高い銘柄でポートフォリオを構築する方針です。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド

ヨーロッパの通貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、ファンダメンタルズや金融政策見通し等を勘案しつつ、3（年）程度から7（年）程度の範囲で対応する方針です。また、債券種別構成に関しては、国債を中心とした運用を継続します。通貨の投資比率については、ユーロ等を40％程度、北欧・東欧通貨圏の通貨を60％程度とする通貨配分を基本としながら、各国ごとの金融政策の方向性や資本・経常収支動向、市場環境等を勘案して配分比率を変化させる方針です。

■ダイワ・オセアニア債券マザーファンド

主としてオセアニアの通貨建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオの修正デュレーションは、各国の経済情勢や金融政策、商品市況などを勘案しつつ、3（年）程度から7（年）程度の範囲で対応する方針です。ポートフォリオの通貨配分について、ニュージーランド・ドル建資産を60％程度、オーストラリア・ドル建資産を40％程度とすることを基本とします。



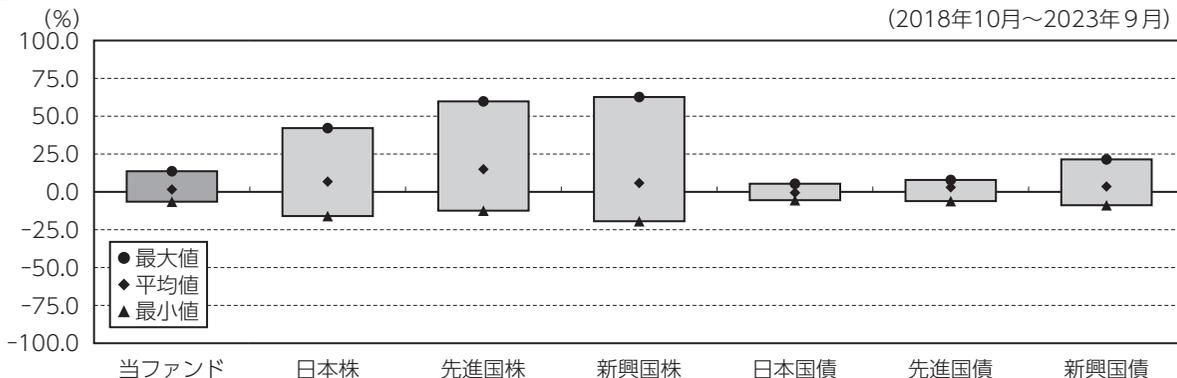
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2003年10月23日）	
運用方針	外貨建公社債に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記マザーファンドの受益証券
	ダイワ高格付米ドル債マザーファンド（米ドル債マザーファンド）	米ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付ユーロ債マザーファンド（ユーロ債マザーファンド）	ユーロ建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド（豪ドル債マザーファンド）	豪ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド（カナダドル債マザーファンド）	カナダ・ドル建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド（ヨーロッパ債券マザーファンド）	ヨーロッパの通貨建ての公社債等および短期金融商品
	ダイワ・オセアニア債券マザーファンド（オセアニア債券マザーファンド）	オセアニアの通貨建ての公社債等および短期金融商品
ベビーファンドの運用方法	<p>①米ドルおよびカナダ・ドルを北米通貨圏、ユーロ等および北欧・東欧通貨を欧州通貨圏、豪ドルおよびニュージーランド・ドルをオセアニア通貨圏とし、3通貨圏に均等に投資することをめざします。</p> <p>②各通貨圏の公社債への投資は以下のマザーファンドの受益証券を通じて行ないます。</p> <p>イ. 北米通貨圏への投資は、米ドル債マザーファンドおよびカナダドル債マザーファンドの受益証券を通じて行ないます。</p> <p>ロ. 欧州通貨圏への投資は、ユーロ債マザーファンドおよびヨーロッパ債券マザーファンドの受益証券を通じて行ないます。</p> <p>ハ. オセアニア通貨圏への投資は、豪ドル債マザーファンドおよびオセアニア債券マザーファンドの受益証券を通じて行ないます。</p> <p>③各通貨圏内では、投資対象となるマザーファンドのポートフォリオの最終利回り（以下「利回り」といいます。）を参考とし、投資対象通貨を6対4の比率で配分することをめざします。</p> <p>イ. 北米通貨圏では、米ドル対カナダ・ドルを4対6とすることをめざしますが、米ドル債マザーファンドの利回りがカナダドル債マザーファンドの利回りより高い場合、米ドル対カナダ・ドルを6対4とすることをめざします。</p> <p>ロ. 欧州通貨圏では、ユーロ等対北欧・東欧通貨を4対6とすることをめざしますが、ユーロ債マザーファンドの利回りがヨーロッパ債券マザーファンドの利回りより高い場合、ユーロ等対北欧・東欧通貨を6対4とすることをめざします。</p> <p>ハ. オセアニア通貨圏では、豪ドル対ニュージーランド・ドルを4対6とすることをめざしますが、豪ドル債マザーファンドの利回りがオセアニア債券マザーファンドの利回りより高い場合、豪ドル対ニュージーランド・ドルを6対4とすることをめざします。</p> <p>二. 各通貨圏内の配分は、半年ごとに見直しを行ないます。</p> <p>④マザーファンド受益証券の組入比率の合計は、通常の状態で信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。なお、売買益等について、基準価額の水準および今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮して分配することがあります。</p>	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年10月～2023年9月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	13.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	1.6	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最小値	△6.5	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



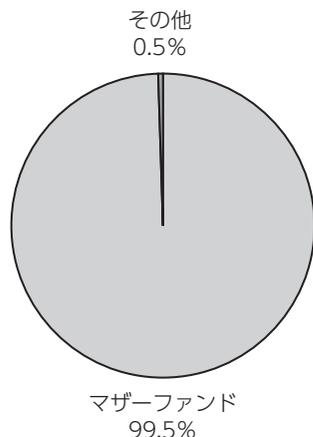
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

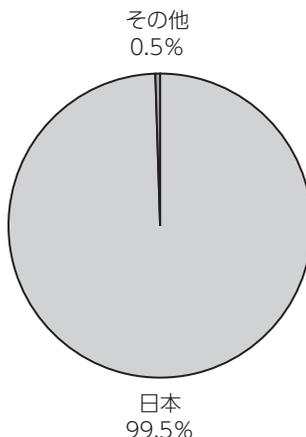
組入ファンド等

	比率
ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド	33.2%
ダイワ・オセアニア債券マザーファンド	33.0
ダイワ高格付米ドル債マザーファンド	20.1
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	13.2
その他	0.5

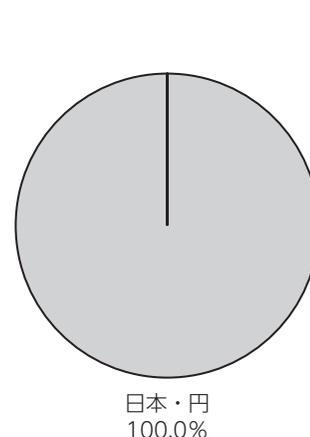
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月5日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	第234期末	第235期末	第236期末	第237期末	第238期末	第239期末
	2023年5月8日	2023年6月5日	2023年7月5日	2023年8月7日	2023年9月5日	2023年10月5日
純資産総額	89,412,247,537円	88,980,337,507円	90,120,530,396円	87,343,561,547円	87,853,303,790円	85,623,778,434円
受益権総口数	135,526,423,639口	134,468,311,745口	131,626,249,202口	130,578,311,531口	129,520,958,515口	128,434,080,121口
1万口当り基準価額	6,597円	6,617円	6,847円	6,689円	6,783円	6,667円

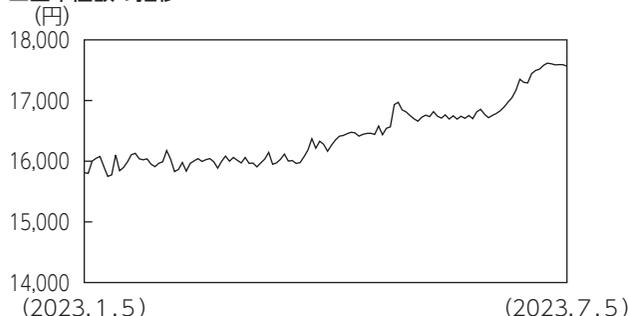
* 当作成期間（第234期～第239期）中における追加設定元本額は337,882,217円、同解約元本額は7,958,032,661円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ダイワ・ヨーロッパ債券マザーファンド（作成対象期間 2023年1月6日～2023年7月5日）

■基準価額の推移



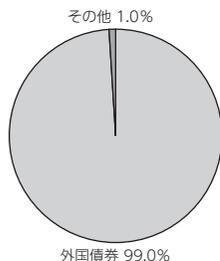
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用)	3 (3)
(その他)	(0)
合計	3

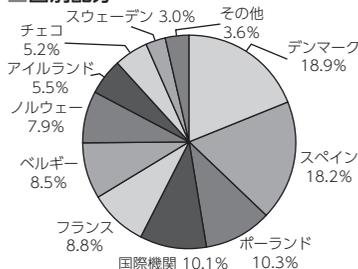
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
SPANISH GOVERNMENT BOND 1.45% 2027/10/31	ユーロ	7.1%
DANISH GOVERNMENT BOND 0.5% 2029/11/15	デンマーク・クローネ	6.8
FRENCH GOVERNMENT BOND 1.0% 2027/5/25	ユーロ	6.6
DANISH GOVERNMENT BOND 0.5% 2027/11/15	デンマーク・クローネ	6.4
SPANISH GOVERNMENT BOND 1.95% 2026/4/30	ユーロ	5.9
Poland Government Bond 2.75% 2028/4/25	ポーランド・ズロチ	5.9
IRISH TREASURY 0.2% 2030/10/18	ユーロ	5.5
DANISH GOVERNMENT BOND 2031/11/15	デンマーク・クローネ	5.2
SPANISH GOVERNMENT BOND 3.15% 2033/4/30	ユーロ	5.1
Belgium Government Bond 0.8% 2028/6/22	ユーロ	4.4
組入銘柄数		34銘柄

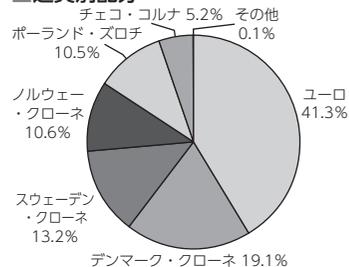
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のもです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

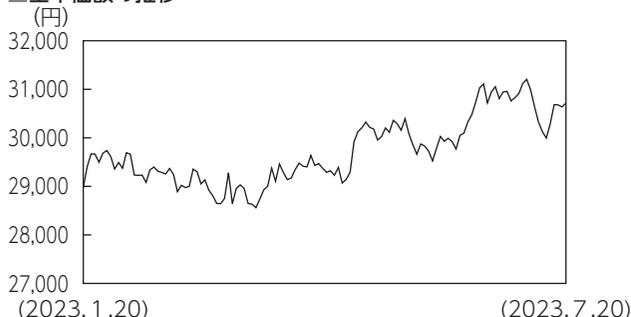
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・オセアニア債券マザーファンド（作成対象期間 2023年1月21日～2023年7月20日）

■基準価額の推移



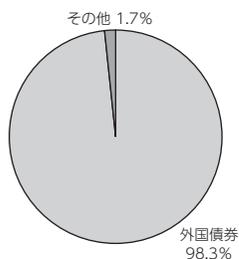
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)
合計	4

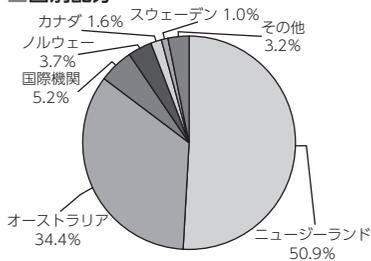
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 4.5% 2027/4/15	ニュージーランド・ドル	10.7%
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 1.5% 2029/4/20	ニュージーランド・ドル	9.7
NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND 3.5% 2033/4/14	ニュージーランド・ドル	7.6
NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. 2.0% 2031/3/20	オーストラリア・ドル	6.0
NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND 3.0% 2029/4/20	ニュージーランド・ドル	6.0
NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. 3.0% 2028/11/15	オーストラリア・ドル	4.2
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC 2.25% 2031/5/15	ニュージーランド・ドル	4.1
NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND 4.5% 2030/5/15	ニュージーランド・ドル	3.3
TREASURY CORP VICTORIA 1.5% 2031/9/10	オーストラリア・ドル	3.1
NEW ZEALAND GOVERNMENT BOND 1.5% 2031/5/15	ニュージーランド・ドル	2.9
組入銘柄数	44銘柄	

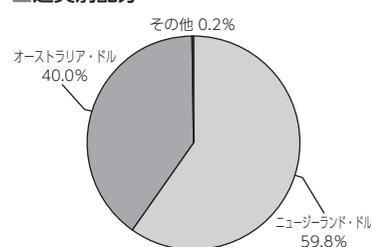
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

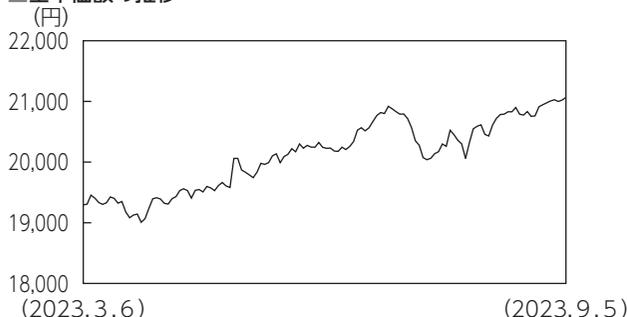
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ高格付米ドル債マザーファンド（作成対象期間 2023年3月7日～2023年9月5日）

■基準価額の推移



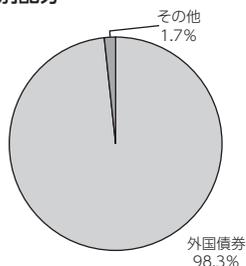
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	1

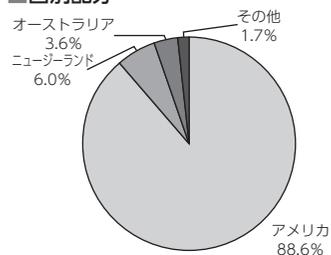
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2028/4/30	アメリカ・ドル	12.4%
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2030/4/30	アメリカ・ドル	9.9
United States Treasury Note/Bond 2.625% 2025/3/31	アメリカ・ドル	9.0
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.125% 2027/10/31	アメリカ・ドル	8.9
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.25% 2029/6/30	アメリカ・ドル	7.6
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2030/1/31	アメリカ・ドル	7.3
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.125% 2032/11/15	アメリカ・ドル	5.5
Westpac Banking Corp 2.7% 2026/8/19	アメリカ・ドル	3.6
GINNIE MAE II POOL MA8800 5.0% 2053/4/20	アメリカ・ドル	3.2
City of New York NY 5.985% 2036/12/1	アメリカ・ドル	3.2
組入銘柄数	30銘柄	

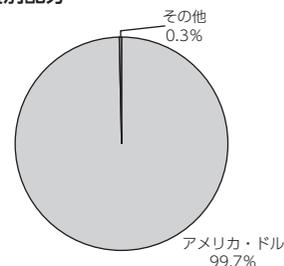
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management